

筑波大学女子学生 殺害される

筑波学生新聞

発行・編集
筑波大学学生新聞会
代表 貝田章子
〒305-8691 茨城県筑波学園郵便局
私書箱 29号
電話 0298-52-4460
振替 00360-9-31450
無料

号外

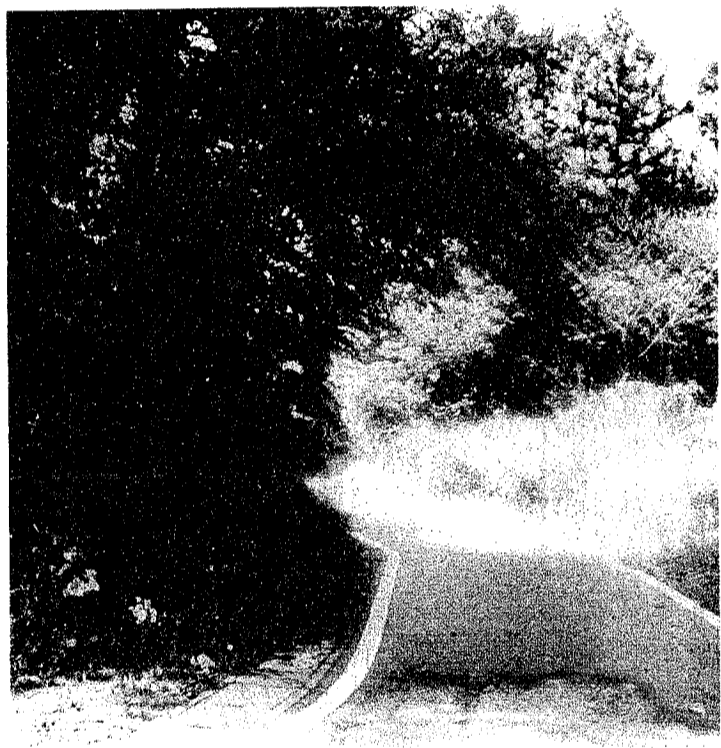
入学直後に失踪 一月後に遺体で発見

行方不明になっていた筑波大学一年の川俣智美さん(第三学群工学基礎学類)が五月三日、つくば市高田の山林から遺体で発見された。

現場は土浦学園線とエキスボ通りが交差する地点から一キロほど離れたシナ竹林で、人気は少ない。市道から約十メートルほど離れた場所に着ると、下着のみで仰向けになっていた。

遺体は死後二週間以上経過していたため、頭部が一部白骨化しており、また首に彼女のものと思われる下着が巻かれていた。死因は窒息死と見られ、首に手などで締められた跡があることから、茨城県警捜査一課とつくば中央警察署は殺人・死体遺棄事件と断定、捜査本部を設置し調査を進めている。川俣さんの遺体からは暴行の跡は見つからず、殺害の動機についてはわかっていない。

川俣さんは、四月六日に大学の一年次生宿舎に入居し、七日は入学式に出席。八日、九日は普通に学校に行き、九日の夜には学類のコンパにも出席してい



遺体が発見されたつくば市高田の現場

た。十日の夕方、宿舎付近で外国人男性と二人で歩いているのを目撃されたから、五月三日午前つづいての心を配した川俣さんからの「死体が放置されている」との通報があり、調査の両親が十四日に捜索願をつくらせ、警察は一ノ矢宿舎周辺を中心にして学生への聞き込み調査を行い川俣は「発見されてよかった

が、(結果が)最悪だった。でも、正直言って実感がわかない。明日彼女が学校に来て、おかしくない気がする」と語る。

現在、捜査本部では最後に川俣さんと一緒にいるのを目撃された外国人男性を、事件に関連があるとして行方を追っている。この外国人男性は、身長百八十五センチメートルの白人であり、十日以降も一ノ矢共用棟付近で目撃されていることから、一ノ矢宿舎周辺でモニターによる確認作業が続けられている。また、広く情報を求めるため、捜査本部にフリーダイヤルを設置した。番号は〇二二〇・〇一一・六三二。

四月七日(水)
入学式が大学会館で行われ、川俣さんも出席した。式後は、新歓祭が行われ各サークルが勧誘合戦を繰り広げた。新入生のほとんどは新歓祭が行われている場所を通ることになる。川俣さんは昼ご飯までは友人と一緒にいた。この日の夜は、応援団の新歓コンパに友達と参加。団員の一人は彼女について「真面目そうな感じの人だった。パーマのある髪型が印象的で、(応援団に)入りそうだった」と語っている。

四月八日(木)
必修科目・英語のクラス分けテストが行われる。新入生は全員参加しなければならぬ。川俣さんも当然参加しており、ここで工学基礎学類全員と顔を合わせなくてはならない。この日の夜はコンパ等に参加したという話はなく、彼女がどう過ごしたかはわからない。だが、白人男性と彼女が一緒にいる姿が目撃されている。川俣さんも出席した。式後は、新歓祭が行われ各サークルが勧誘合戦を繰り広げた。新入生のほとんどは新歓祭が行われている場所を通ることになる。川俣さんは昼ご飯までは友人と一緒にいた。この日の夜は、応援団の新歓コンパに友達と参加。団員の一人は彼女について「真面目そうな感じの人だった。パーマのある髪型が印象的で、(応援団に)入りそうだった」と語っている。

四月九日(金)
工学基礎学類のオリエンテーションが大学で行われ、川俣さんもこれに出席した。夜は工学基礎学類の新歓コンパが行われた。これは、学類全員に呼びかけられていたコンパで川俣さんは六日のコンパ知り合った友達などと参加した。このコンパに参加していた工学基礎学類の男子生徒は「当たり障りのない話しかしなかったが、おとなしい感じだった」と語る。

四月十日(土)
本日は休講日。昼間川俣さんは一人でいたようだが、どこかに出かけたらしい。たかどかはわからない。夕方、友人の一人が「サークルのコンパに行かないか」と誘ったところ「友達と食事に行くからコンパには行かない」と答えた。その後、友人は誰とも接触しなかった。

四月十一日(日)
昼間学類の友人が川俣さんの部屋へ電話をかけた。彼女は電話でなかったが友人は偶然部屋にいた。ただけだろうかと考えていた。この日、彼女と接触した人は誰もいないようだった。

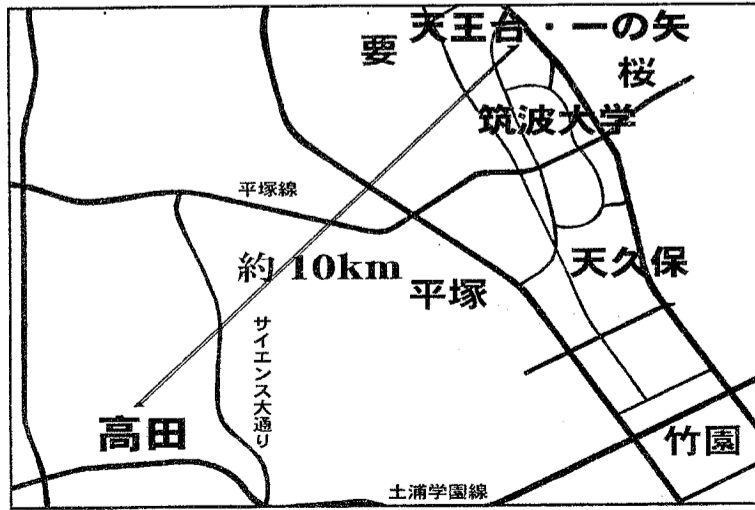
四月十二日(月)
この日から授業が始まったが、学類の友人が川俣さんが来っていないという

四月十三日(火)
この日も川俣さんは学校に現れなかった。前日川俣さんの部屋を訪れた友人達が、川俣さんのクラス担任に何か彼女から聞いていないかと尋ねに行った。担任は何も聞いておらず、不審に思った担任は、その場で川俣さんの実家へ電話をした。しかし、実家にも不在で、行方不明と断定された。

四月十四日(水)
川俣さんの親の方から、つくば中央署に捜索願が出された。警察はとりあえず事件としてではなく調査を始めたようだが、非公開という方向だった。

その後、警察は川俣さんの部屋で指紋採取を行った。担任に連絡した同じ学類の学生、何人かに事情聴取を行った。それから、一ノ矢共用棟前で無作為に一般の学生を呼び止め、聞き込みを行っている。彼女の写真とともに最後に見かけられた白人男性の特徴も説明していたようでした。

警察が宿舎内に入るようになつてから学生間にも行方不明者がいるという噂が広がりました。しかし、大学も警察も非公開を通しており、噂が先行するということが続いていた。



つくば大学から現場までの地図

ことに気づく。単に大学に来ていないだけだと思っ部屋を訪ねたが、いなかった。電話にも出ず、部屋の新聞受けに新聞がたまっていた。十二日前後に一ノ矢共用棟の掲示板に川俣さん宛に親から連絡があったと言ふ趣旨の伝言が書かれていたので、実家にも帰ったのではないかと考えたようだった。

宿舎の特集 特異性を問う

今回の事件を振り返ると、最後に目撃された時に一緒にいた白人男性が重要人物であることが容易に想像される。そこで浮かび上がるのが、なぜ彼女が彼についていったのか、という疑問だ。彼女が入居して間もないことから、彼女の行動範囲は授業外はほとんどが宿舎に限られた。

この宿舎という筑波大学特有の環境に加えて、入居したという新入生にとって特殊な時期が事件の背景に浮かび上がった。

(増田)

今回の事件が起きた理由としてまず頭に上がるのは、学生宿舎の特異な環境についてだ。学生だけが二人近く住む中で、極めて狭い場所に密集して生活している。建物内男子棟、女子棟にわかれていて、出入りは自由。もちろん向かいも存在せず、共用棟に管理員が干渉されることはない。極めて開放的な空間である。

その開放性に宿舎には、様々な人が訪れる。普通なら大学の構内ではなされるはずの友人との出会い、サークル勧誘はまず宿舎が舞臺だ。そのため宿舎は一日中さわめきが途絶えることはない。周りに学生しかいないので、誰にも気兼ねすることもなく夜中まで大騒ぎできる。監視者のいない学生だけの世界。筑波大生にとっては日常の世界も、周りから見れば非常に



まずのめ

私は手錠で死体と結びつけられています。そこに蠅がたかります。

そしてその蠅は私にもまとわりつきます。

うるさいこと、不快なこと。この上ないつらさはありません。

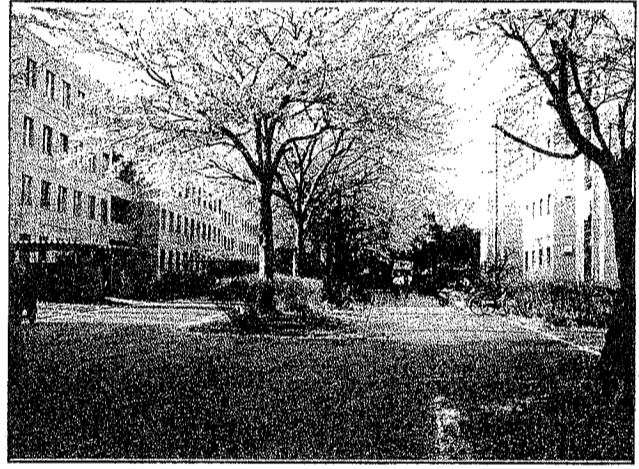
死体の方は友達だからいいですけど。

特殊な世界である。このような状況は、犯罪には非常にもろい。女子棟が特定できることは犯罪者にとつて願ってもないことだろう。その上宿舎の出入りは自由で、管理員はいない。このような宿舎ではいざという事件は起きる。「泥棒に入られた」「下着が全部なくなつていく」「冠さくら知らない人がベッドの脇に立っていた」という話はよく耳にする。今回のような生死に関わる事件は少ないが、そのような犯罪は日常茶飯事として起きていた。また、犯罪とまではいえないが、いざという時に電話をかけたときの経験を持つ人は多い。

開放性の高さが 落とし穴に

「開放性」とは、現代社会では味わえない濃密さがある。得られる友人は皆、目の前の先に住んでいて、深夜であろうとも訪ねることができ、そこで酒を飲み語り合ひ、朝が来れば自分で貴重な生涯の親友を作れる。

「開放性」とは、現代社会では味わえない濃密さがある。得られる友人は皆、目の前の先に住んでいて、深夜であろうとも訪ねることができ、そこで酒を飲み語り合ひ、朝が来れば自分で貴重な生涯の親友を作れる。



「つくば」。その名前は知らず知らずのうちに田園風景が広がるのどかな街である。そんなつくばの象徴である筑波大学に今回の殺害事件は大きな波紋をおこした。今回の事件では捜査本部が設置された。茨城県では年に五件程度しか設置されないもので、事件の大きさを物語っている。滅多にない大きな事件だからこそ、そのための、マスコミ各社が競って筑波大での取材を開始した。我々、筑波学生新聞も号外発行のためにこの競争に巻き込まれた形となった。かなり強引な取材が行っているところまり圧倒されつぱな状況だった。

疑問に思ったのは一体何を取材すべきかということである。マスコミは「被害者のプロフィール」「犯人の特定」「センセーショナルな情報を求めがちであるが、問題はそれの意味があるのかどうかということである。我々の方向性はワイドショー的なものより筑波大生として生活している

川侯智美さんのご冥福を祈ります

筑波学生新聞 編集員一同

筑波学園文庫

古書買入

学術書・専門書

筑波大教科書・参考書

SUKIYA. デニーズ. 珍米

東大通り

筑波学園文庫

至大会館

つくば市天久保 3-21-3

TEL/FAX(0298)56-0322

教習所幹旋開始!! - Tel&Fax 55-9331

◎今年も始まりました!! 安くて安心、生協の教習所紹介。体験会や説明会などのイベント、オリジナルの資料等も有ります!!

※合宿免許の幹旋は5月中旬に解禁となります。

筑波学生教職員生活協同組合

・営業時間 11:00 ~ 20:00